

## 市長臨時記者会見 概要

- 日時：令和元年 7 月 24 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 1 時 50 分まで
- 場所：市庁舎 3 階庁議室
- 相手方出席者：神奈川新聞社、朝日新聞社、ジェイコム湘南
- 市側出席者：市長 桐ヶ谷 覚、経営企画部長 福井 昌雄、市民協働部長 芳垣 健夫、市民協働部次長 石井 聡、市民協働課副主幹（オリンピック・パラリンピック担当）川嶋 名津子
- 陪席者：経営企画部次長 福本 修司、広聴広報係長 西 久美子、広聴広報係主事 蛭間 幸実

### ■配布資料

- ・逗子市プレスリリース「スペインセーリングチームとの交流会を行います」

### ■内容：下記のとおり

#### 【経営企画部次長】

お集まりいただきまして、ありがとうございます。

ご案内のとおり、初めに市長からプレスリリースを 1 件、お話をさせていただきます。

#### 【市長】

皆様こんにちは。お集りいただきありがとうございます。

今日、開催しましたのは、逗子市が紙面上賑やかではない、平安だと言えばそれまでですが、あまりに目立たないのはいかがなものかと考えまして、これまでは議会の前に記者会見というのが定番で、そこを変えたいと考えました。今後は、市のプレスもありますが、例えば観光協会や商工会、市をあげていろいろなことを行っている団体の情報も含めて、日頃から皆様とフランクにいろいろな情報を出し合って、その中からこれは取り上げてみたいと思えるものがいくつかご提供できて、それがまちの賑わいにつながってほしいと考えています。目的はプレスの皆様と我々の持っている情報を共有しながら逗子市に注目していただきたいという思いで開催していきたいと考えています。

今日は間近に迫ってまいりましたセーリングについて、我々がスペインのホストタウンを担っておりますが、プレスを一つさせていただきます。実は今日、NHKで各地のことをやっていました。山梨葉山町長の若かりし頃の写真をフェイスブックで拝見して、すぐに山梨さんに「載っていたね」と言ったら、「あの写真は使わないように言ったけど出てしまいました」と言っていました。彼はまさにかっこよくアピールが来ています。逗子もこれから挽回してまいりたいと考えております。

#### ○スペインセーリングチームとの交流会について

逗子市はスペインセーリング連盟と（株）リビエラ、逗子市とで三者協定を結んでいきます。昨年からはホストタウンとして事前キャンプを受け入れております。スペインセーリン

グチームとの交流会につきましては、メインは8月12日、逗子アリーナにスペインチームの方々を招き、市民の方はどなたでも参加できる企画を交流会として準備しています。交流会の内容はヨットの展示、パラスポーツの体験、縁日、これには池子地区の町内会のご協力もいただいて神輿も出していただき、子供向けのワークショップなどで交流を持てれば良いと考えて準備をしているところです。

また、東京五輪音頭・2020を踊って、皆で楽しくやれればと思っています。スペインチームから40名ほど参加いただける予定になっております。

今回、逗子市におきましてはオリ・パラ課を設けました。昨年度は専任の所管はなく、横断的に組織を動かしていた訳ですが、今年、来年に関しては、担当する所管が必要という思いから当初にオリ・パラ課を作りました。市民協働部の石井次長が兼務ですが、オリ・パラ課の担当をしております。また、市職員で唯一スペイン語を話せる職員がおります。川嶋と申します。せっかくスペイン語が堪能な職員もおりますので、オリ・パラ課にはこの春から川嶋が異動しました。細々した打合せを市職員で進めていけるということを目指しました。6月からスペイン応援キャンペーンを企画し、市民企画の募集、スペイン応援店の募集、市民ボランティアの募集を打ち出しました。

市民企画については、今10件ほど応募がございます。市民の声を大事にして企画に結び付けたいというところです。スペインの応援店も5軒ほど名乗りを挙げていただいております。市民ボランティアは100名を超える方々に応募いただきました。逗子市内に限らず近郊から応募いただきましたが、説明会の際に自己紹介をスペイン語でする方がおられたというくらい、スペインに関わりたい、お手伝いをしたいという人たちがたくさんいるということが分かりましたし、その方々にご協力をいただきながらスペインチームをおもてなししたいと考えております。今後、通訳など必要とする場面が多くなるかと思いますが、そういった方々にお願いをしながら今年、来年と盛り上げていきたいと考えております。

今日は揃いのシャツ（キャンペーンポロシャツ）で参りましたが、このシャツも230枚販売しております。皆様にもご協力いただければと思います。8月の広報ずしでオリンピックに向けての内容を載せる準備をしております。

私の方からは以上です。

#### 【経営企画部次長】

それでは、質疑をいただければと思います。どうぞお願いいたします。

記者) 交流会の内容について、交流会の前半ではどのようにスペインの選手と交流するのですか。

市民協働部次長) 交流会は1時半からスタートしますが、スペインチームの皆さんが来る

のは3時ですので、3時から選手の紹介のセレモニーをして、皆さんで五輪音頭を楽しんでいただき、自由に交流というのは最後の4時から4時30分の30分位です。

記者) 自由交流というのは。

市民協働部次長) 会場の中で、例えばスペインチームの皆さんに縁日を楽しんでいただくなどを考えています。

記者) 前半にやっていたものを楽しんでいただくということですか。

市民協働部次長) そうです。

記者) 応募が10件ほどあったという市民企画についてですが、具体的にどのようなものがあったのでしょうか。

市民協働部次長) スペインのワインを楽しむ講座ですとか、スペインバル、スペイン語講座もあります。久木小学校区の住民自治協議会では久木会館で月1回、みんなの食堂というコミュニティレストランをされています。そこでスペインメニューを出していただく、最近では月毎にテーマを持ったメニューで、その一つとしてスペインのメニューを出すということです。

記者) スペインワインを楽しむ講座の場合、市民の方が何月何日にやりたいですというような希望を市に伝えて、市が広報で伝えるということですか。

市民協働部次長) はい。

記者) では、日にちも決まっているということですか。

市民協働部次長) 今のものは全て決まっています。企画についてはこの日にこれをやりますよと手を挙げていただいて、こちらとしては広報誌でお知らせしたり、内容を後日レポートしたり、という関わり方をしています。

記者) 取材可能なものがあたら後で教えてください。

市長) ぜひ行ってください。このようなものをお知らせいただかないと逗子は何もやらな  
いまちだと思われてしまうので、ご協力お願いします。

記者) 久木のみんなの食堂は、これまでやっている活動というのは子ども食堂的なイメージですか。

市民協働部次長) 実際には未就学から小学校低学年のお子さんと母親の組み合わせが一番多くて、地域のボランティアの方で調理をして、月に1回、いくらか材料費は頂くのですが提供していて、毎回100人以上来ています。

記者) 取材したいです。

市長) ぜひ。すごく賑やかです。

市民協働部次長) 久木小学校の敷地の中に地域の集会場と言いますか、会館がございまして、立派な調理室がありますので、そこを会場にしています。

記者) 市民企画は今のところ10件ほどということですが、現在も募集中ですか。

市民協働部次長) はい。どうしてもセーリングなのでスペインチームがいる間と思われてしまうのですが、来年度いっぱい、オリンピックが終わる年の年度末まではやっていきたいと考えております。来年本番に向けて、例えば冬の間スペイン語を勉強したり、そういうことも含めて考えていますので、スペインに関わること、あるいはセーリングに関わることであればどんなものでも歓迎します。

記者) それは広報でPRしてらっしゃるのですか。

市民協働部次長) はい。ただこの後、8月号の後は広報誌で毎回載せる訳にはいかないのですが、ホームページに特設の部分がありますのでそこに載せたり、あるいは先程市長から説明のありました、応援団の方、市民ボランティアの方がいらっしゃいますのでボランティアの方に取材に行ってもらって、その記事をフェイスブックで拡散するというのを考えています。

記者) 市民ボランティアも広報誌で募ってらっしゃるのですか。

市民協働部次長) そうですね。そこでもやりましたが、市外の方が多いため、それ以外のところからも応募はあります。

記者) 市外の方はどういう風に見つけたのですか。

市民協働部次長) スペイン関係のコミュニティ、スペイン語の講座に情報を出しました。

記者) ボランティアの市民と市外の方の割合はどれくらいですか。

市民協働部次長) 7割くらいが市外で、市外の方が多いです。

市長) 想像ですけど、英語を話す人はたくさんいるかもしれませんが、スペインとなると限られてきて、自分達がお手伝いできるなら、これは良いと思うと情報を集めて来られるみたいですよ。

**【経営企画部次長】**

他にはよろしいでしょうか。ないようなので、終わりとさせていただきます。

**【市長】**

ありがとうございました。